



## 第6章 ともに生きる 協働のまち

みなさんはどのように安芸高田市の自然や文化，伝統，スポーツに親しんでいますか。安芸高田市の魅力を調べてみましょう。





# 1 自然とともに

安芸高田市の豊かな自然。この自然を守り，親しむ活動にはどのようなものがあるのか，考えてみましょう。



## (1) 江の川に親しむ



日本で最も大きな川は，関東平野を流れる利根川です。安芸高田市には，中国地方最大の河川，江の川が流れています。全国で見ると，本流の長さは12位です。

「江の川」という名前は，昭和41(1966)年4月に一級河川に指

定されたときに定められました。その前までは，川の流れるそれぞれの地域において，可愛川，郷川，江川など様々な呼ばれ方をしていました。三次市より上流（安芸高田市方面）における江の川の本流は「可愛川」と呼ばれ、「日本書紀」（720年）にも可愛川が記されているそうです。昔から私たちに親しまれた名前です。



桂水辺の楽校（吉田町）  
国土交通省HP

平成16年3月には，吉田町の郷野小学校の近くを流れる江の川に，「桂地区水辺の楽校」が完成しました。川原や水辺の植物，水中の生き物を通じて，誰でも自然に親しめる場所として利用されています。また，地域の人々の憩いの場となっています。

市内の小学校では，江の川（可愛川）やその支流の川の生き物を調査し，その場所の水質を調べています。江の川は，平成16年調査によると中国地方の一級河川では，きれいな川の4位にランキングされています。



水生生物調査（吉田小学校）



## (2) 自然に親しむ



郡山城



郡山公園

日本 100 名城が安芸高田市にあることを知っていますか。

日本 100 名城には、国宝の彦根城（滋賀県）や首里城（沖縄県）、江戸城（東京都）、大阪城（大阪府）などがあります。平成 18 年に安芸高田市の郡山城もその一つに選ばれています。郡山城は、安芸国の戦国大名毛利氏の居城でした。県外からも多くの方が訪れています。

郡山公園は、郡山の麓にあり、寺の跡を大正の初め公園にしたものです。春は桜、夏はつつじ、秋は紅葉と史跡と自然を調和した日本式の庭園です。

その他にも、安芸高田市には、誇れる自然がたくさんあります。サクラ、カタクリ、ショウブなど、季節の花々にふれられるところもたくさんあります。行ってみると、新たな発見があるかもしれませんね。



土師ダムの桜(八千代町)



カエデ林(甲田町)



ホタル(高宮町)



花しょうぶ(向原町)



## 2 伝統とともに

あきたかたかぐら  
安芸高田神楽を生かした取組について調べてみましょう。

あきたかたかぐら  
安芸高田神楽はどうして長い間受け継がれてきたのかな。!?



### (1) 知っておきたい「安芸高田神楽」

かぐら  
神楽とは、古くは「神様を楽しませる」神事として行われてきました。現在では催し物や祝い事に欠かせない郷土芸能として、人々に楽しまれています。



(写真／八千代神楽団)

かぐら  
安芸高田市の神楽は江戸時代に島根県から伝えられたと考えられています。演劇的で物語性が強く、のびのびとした舞が特徴の安芸高田神楽は、戦後、神楽大会の流行とともに、またたく間に広島県北西部へと伝わり、大きく発展しました。

#### 「神楽」でまちおこし!

##### ～神楽ドーム誕生秘話～

かぐら  
美土里町で「神楽でまちおこしをしよう」という声が高まり、賛成反対の議論のすえ、神楽専門の上演施設「神楽ドーム」を建設することになりました。その工事の途中で温泉がわき出したため、計画が大きくふくらんで、平成10(1998)年、神楽ドームと温泉施設が一緒になった「神楽門前湯治村」がオープンしました。



かぐらもんぜんとうじむら  
神楽門前湯治村



かぐら  
神楽ドーム

### 安芸高田市神楽団22団体

吉田町	よしだかぐらだん 吉田神楽団 こうえんかぐらだん 高猿神楽団
八千代町	やちよかぐらだん 八千代神楽団
美土里町	よこたかぐらだん 横田神楽団 なきたかぐらだん 中北神楽団 うえこうちかぐらだん 上河内神楽団 くろだきかぐらだん 黒瀧神楽団 くわたてんしかぐらだん 桑田天使神楽団 てんじんかぐらだん 天神神楽団 あおかぐらだん 青神楽団 きんじょうかぐらだん 錦城神楽団 みほかぐらだん 美穂神楽団 しおせかぐらだん 塩瀬神楽団 しんこうかぐらだん 神幸神楽団 ひろもりかぐらだん 広森神楽団 ひよしかぐらだん 日吉神楽団
高宮町	はらだかぐらだん 原田神楽団 ささべかぐらだん 佐々部神楽団 かじやかぐらだん 梶矢神楽団 はさたけかぐらだん 羽佐竹神楽団 やまねかぐらだん 山根神楽団 くるめがきかぐらだん 来女木神楽団

古くから受け継がれてきた伝統芸能「安芸高田神楽」。この大切な文化を更に発展させ、次の世代へ受け継いでいくために、新しい取組も行われています。

## (2) 「安芸高田神楽」を生かした取組

「神楽」のよさを多くの人に広めるための取組を、3つのキーワードでまとめてみましょう。

かぐら ほこ  
**神楽を誇る**

あきたかたかぐら とうきょう  
**安芸高田神楽 東京へ!**



安芸高田市では平成 24(2012)年から神楽の東京公演を行っています。美土里町や高宮町、吉田町の神楽団が公演し、安芸高田神楽の迫力ある舞や軽快な奏楽、きらびやかな衣装など、すばらしい芸術性が高く評価されました。



第1回、第2回、第3回公演の様子

### 東京公演鑑賞者の話

広島出身だけど神楽を知らなかった。初めて見て驚きました。広島に神楽があることを誇りに思います。



かぐら

## 神楽をはぐくむ

## 地域の英雄を神楽に

吉田町の吉田神楽団では創作神楽「元就公」の継承に取り組んでいます。近年ではこうした創作神楽に取り組む神楽団が増え、多くの団が独自性を高めながらそれぞれの神楽をはぐくんでいます。



よしだかぐらだん もとなりこう  
吉田神楽団「元就公」

みんなのまちにはどんな伝説や言い伝えがありますか。地域の神楽団の皆さんに協力してもらって創作神楽にまとめてみるといいですね。



かぐら

## 神楽でつながる

## 高校生神楽甲子園

全国各地からそれぞれの地域の神楽を受け継ぐ高校生が安芸高田市に集まり舞を發表します。神楽は仲間とのつながりを生み、文化のつながりを生み、次の世代へとつながっていくのです。



高校生神楽甲子園の様子



安芸高田神楽は、さまざまな取組の中で市民の誇りとして次の世代に受け継がれていくんだね。



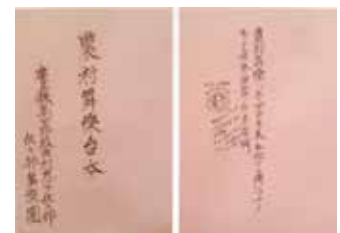
(3) 佐々木順三 ～安芸高田神楽の父～【1908～2006 美土里町】

安芸高田をはじめ、芸北地方を中心に伝えられてきた神楽は、もともとは「神を崇め、迎える」ことを目的とした神前行事で、現在のような華やかなものとは違いました。第二次世界大戦後、「神を崇め、迎える」神楽は、「国家神道」につながる芸能と判断され、「農村舞楽」と呼び名を変えます。そして上演のたびに、連合軍総司令部（GHQ）の厳しい審査を受けなければならなくなりました。これまで通りの神楽が上演しにくくなり、神楽の上演そのものが次々と取りやめになっていく中、この危機を救ったのが佐々木順三でした。美土里町本郷に生まれた順三は、各地の小学校や中学校に教師として勤務するかたわら、郷土芸能の保存・伝承に力を尽くしました。戦後、「芸北神楽台本集」を出版し、「新作高田舞」といわれる創作神楽を発表します。これは、古い神楽のような「神を崇める」内容ではなく、善と悪がはっきりした演劇的なものでした。わかりやすく親しみやすい順三の演目は、神楽大会の流行とともに、神楽の上演をさしひかえてきた芸北地方各地へ急激に広まりました。

こうして広島島の神楽は再び輝きを取り戻したばかりでなく、それまで神楽に関心のなかった人々にも神楽を知ってもらうきっかけになったのです。その後順三は旧美土里町の要職をつとめ、98歳で亡くなるまで安芸高田神楽の発展に貢献しました。



佐々木順三



農村舞楽台本と GHQ による上演許可印  
神楽門前湯治村提供



佐々木順三 顕彰碑  
編集委員撮影

- 佐々木順三の演目
- 「新作岩戸開き」
  - 「天神記」
  - 「土蜘蛛」
  - 「子持山姥」
  - 「戻橋・前後編」
  - 「新大江山」
  - 「玉藻前・前後終編」
  - 「鈴鹿山」
  - 「衣川」
  - 「大化改新」
  - 「滝夜叉姫」
  - 「伊吹山」
  - 「新熊襲征伐」
  - 「壇ノ浦」
  - 「源三位頼政」
  - 「新八岐大蛇」
  - 「新安達原」
  - 「鶴岡八幡宮」
  - 「新作山の大王」
  - 「など」





### 3 スポーツとともに

安芸高田市には大きなスポーツチームが2つ  
あるよ。知っているかな？



#### (1) サンフレッチェ広島

広島には、広島交響楽団・サンフレッチェ広島・広島東洋カープの3つのプロ組織があります。その一つ、サンフレッチェ広島は、平成5(1993)年の日本プロサッカーリーグ誕生から続くプロサッカーチームで、吉田サッカー公園を練習拠点にしています。平成24(2012)年には、念願の1部リーグ初優勝を果たしました。また、平成25(2013)年にも、1部リーグで優勝し、連覇を達成しました。サンフレッチェ広島は「サッカーを通じて夢と感動を共有し、地域に貢献する」ことをめざして、活動しています。

「サンフレッチェ」は、日本語の「三」とイタリア語の「フレッチェ(矢)」をあわせて作られた言葉で「三本の矢」を意味しています。このチーム名は、吉田出身の戦国武将毛利元就による「三矢の訓」の言い伝えから名づけられました。「県民・行政・財界」の三位一体の力によって支えられていることを示し、またチームスポーツの基本である「技術・戦術・体力」の三要素、そして一人一人の選手に必要なとされる「心・技・体」の三原則にもつながっています。



安芸高田市スポンサードゲームでは多くの市民が応援にかけつけています。



## (2) <sup>わくながせいやく</sup>湧永製薬ハンドボール部「レオリック」

「レオリック」は昭和44(1969)年創部の湧永製薬のハンドボール部で、甲田町を本拠地として活動しています。これまで、全日本総合選手権で7連覇達成など、輝かしい実績を残しています。また、日本ハンドボール界の代表的存在で、幾人もの日本代表選手を輩出する強豪チームです。

### 地域とのつながり

「レオリック」は昭和53(1978)年から、小学校でハンドボール教室も開催しています。「ハンドボールを通じて、夢中になれることを見つけしてほしい」「一生懸命練習をすれば、今日できなかったことが明日はできるようになる、人間やればできる、という努力することの大切さを学んでほしい」「仲間とともに力を合わせることで、チームプレーのすばらしさを味わってほしい」という願いをもって、行われています。この教室では技術だけでなく「周囲の大人や仲間にきちんとあいさつをする」「練習後は、自分たちですみずみまでそうじをする」といった礼儀作法も指導し、人として大切なことを伝えようとしています。



ハンドボール教室



ハンドボールの試合の様子 湧永製薬提供

## 4 芸術とともに

### ■安芸高田市芸術農園四季の里八千代の丘美術館

西日本でも珍しい芸術と農業をテーマにした施設です。

地域は宝箱。どんなことがあるかな。



#### 安芸高田市芸術農園

明るいガラス張りのハウスは、温度管理を自動で行っています。季節に応じて、いちご狩りやぶどう狩りが楽しめます。自然をたっぷり体験した後は、アトリエ形式の隣の美術館でゆったりと芸術鑑賞をすることができます。



ぶどう畑

#### 八千代の丘美術館

八千代の丘美術館は、平成13（2001）年に開館しました。小高い丘の上に建つ、四季折々に自然と芸術が楽しめる美術館です。「1棟に一人の作家の個性が輝く芸術と作家に逢える美術館」という名のように、展示ギャラリーは、15棟の独立したギャラリーとなっています。



展示ギャラリー

芸術文化の発信として多くの芸術分野から広島県在住の作家が一年間入館し、テーマに基づいて3回の展示替えを行っています。

また、幅広いジャンルの展示会や作家による創作講座や講演会、あるいはコンサートなどのイベントも開かれます。



【出張授業】

入館作家が、安芸高田市内の小中学校へ絵画指導などの出張授業を行っています。いつもとは少し違った雰囲気です。美術を楽しめます。



【安芸高田市児童・生徒自画像展】

安芸高田市内の児童・生徒を対象にした、自画像コンクールです。入賞・入選作品は、企画展示室などに展示されます。



【ワークショップ】

より多くの方が、美術館と美術作品に親しめるように、入館作家による様々な講座やワークショップがあります。



【夏休み子ども教室】

夏休みの期間中に安芸高田市内の小・中学生を対象とした美術講座が開かれます。指導作家の作品の解説や技法などの学習もできます。



(八千代の丘美術館パンフレット)

いろいろ工夫した会を企画することで、地域を元気づけているね。



## 5 これからの安芸高田市



これから安芸高田市はどんなまちをめざしていくのかな。

### < 将来像 >

## 人がつながる でんえんとし 田園都市 安芸高田

### ■人がつながる

- 地域の自然や環境との“つながり”
- 地域の歴史・生活文化との“つながり”
- 地域に暮らす多様な人との“つながり”

### ■ でんえんとし 田園都市

でんえん 田園と山並みの豊かな緑、せいりゅう 清流に囲まれた歴史と伝統のあ  
る落ち着いた暮らしをしながら、としてきみりよく 都市的の魅力と田園の安らぎが共  
生した快適でうるおいのある生活空間や、「安心」と「ゆとり」  
を備えた住みやすさ、たよう 多様な働く場が確保されたまちを目指  
しています。

### ■ ちょうせん 3つの挑戦

- 人が集い育つまちづくりへの挑戦 ちょうせん
- 安心して暮らせるまちづくりへの挑戦 ちょうせん
- 地域資源を活かしたまちづくりへの挑戦 しげん ちょうせん